

H16.7.13 水害 10 周年行事について(案)

1. 主 旨

- ・平成 16 年 7 月 13 日の豪雨により甚大な被害が発生し、この水害から得られた教訓を忘れることなく後世に伝え、信濃川下流域の地域防災力をさらに高めるために、「水害に強い信濃川下流域づくり推進協議会」が中心となって、行事を行う。

2. 主な内容

①水防訓練と水防活動等見学会の同時開催

- ・日 時:平成 26 年 6 月 1 日(日)9:00～16:00(予定)
- ・場 所:新潟市南区赤渋字寺田地先外
- ・概 要:出水期(入梅)前に実施している「信濃川下流水防訓練」に合わせて、水防啓発の充実を図るため、水防訓練の見学、訓練会場及び赤渋防災ステーションで広報パネル展示、近隣の河川工事現場での見学会及び排水機場等の施設見学会を実施。

②国・県・市等が連携した洪水対応訓練

- ・日 時:平成 26 年 6 月 22 日(日)5:00～16:30(予定)
- ・場 所:三条市内
- ・概 要:毎年、三条市が実施している「水害対応総合防災訓練」に合わせて国土交通省の災害支援訓練として、災害対策の排水ポンプ車及び照明車の派遣、稼働訓練を実施。

③7.13 水害 10 周年シンポジウムの開催

- ・日 時:平成 26 年 8 月 24 日(日)10:00～18:00(予定)
- ・場 所:燕三条地場産業振興センター「メッセピア」1F多目的大ホール
- ・概 要:7.13 水害被災者の体験談及び自助・共助・公助の進歩を振り返るパネルディスカッションを実施

3. 今後の進め方

- ・ワーキンググループを設置し、詳細を検討。

4. その他

- ・平成 25 年 10 月 23 日に設立された「防災・減災・新潟プロジェクト 2014」統一キャンペーンとの連携を図る。(共通の標語、シンボルマーク等)
- ・協議会以外にも、7.13 水害 10 周年行事として実施される行事を募集し、それらを取りまとめたカレンダー型チラシを作成・更新。(別紙)

(案)

教訓を 伝えて活かす まちづくり 平成16年7.13水害から10年



平成16年7月13日に発生した平成16年新潟・福島豪雨による水害では、甚大な被害が発生しました。

この水害から得られた教訓を忘れることなく後世に伝え、信濃川下流域の地域防災力をさらに高めるために、2014年は、流域の関係機関等が連携して、行事を行います。

水害に強い信濃川下流域づくり協議会

構成団体：新潟市・長岡市・三条市・加茂市・見附市・燕市・

五泉市・弥彦村・田上町・新潟県防災局・新潟県農地部・

新潟県土木部・北陸農政局整備部・北陸地方整備局河川部

関連行事カレンダー(順次更新)

時期	4 ～ 6月	7 ～ 9月	11 ～ 12月
行事	5月18日 三条防災ステーション開所式 5月31日 弥彦村防災訓練 6月1日 水防活動等見学day 6月1日 信濃川下流水防訓練(主催 信濃川水防連絡会) 6月15日 見附市防災訓練 6月22日 国・県・三条市合同洪水対応訓練(仮称)	7月13日 7・13水害追悼式典(三条市) 7月13日 7・13水害10周年献花・黙とう式、講演会(仮称)(長岡市) 7月24日 7・13水害10周年シンポジウム(仮称)スタンプリー 9月頃 笠堀ダム50周年記念講演会 9月頃 北陸地方整備局防災訓練	10月19日 田上町防災訓練 10月26日 五泉市防災訓練 10月頃 燕市防災訓練 治水歴史めぐり

「防災・減災 新潟プロジェクト2014」スタート

災害に負けない新潟、災害に強い新潟へ

平成26(2014)年は、新潟地震から50年、新潟焼山火山災害から40年、中越大震災と7.13水害(新潟・福島豪雨災害)から10年の節目の年にあたります。新潟県は、これまでに地震、津波、水害、雪害、火山災害など多くの災害に見舞われてきました。しかし、私たちは助け合いながら、豊かな知恵と工夫、我慢強く諦めない心で、新しいまちづくりを実現してきました。

「防災・減災 新潟プロジェクト2014」では、防災・減災に関するさまざまな取り組みや、県民のみなさまお一人おひとりの備えに役立つ情報の発信を柱に、関係者が連携・協力した活動を展開していきます。みんなの力を合わせて、社会全体で防災・減災に取り組みましょう。



教訓を
 伝えて活かす
 まちづくり

キャッチフレーズ

プロジェクトへの参加など詳しい情報はこちらから。

<http://www.hrr.mlit.go.jp/project/index.html>

防災・減災 新潟プロジェクト2014

検索

「防災・減災 新潟プロジェクト2014」統一キャンペーン実行委員会事務局(北陸地方整備局 企画課)

プロジェクトへの参加 ～みんなで防災・減災に取り組ましよう～

「防災・減災 新潟プロジェクト2014」では、過去の自然災害から得られた貴重な教訓を、風化させることなく後世に語り継ぎ、社会全体で防災・減災に備えるため、企業・団体等の皆様に参加を呼びかけています。防災・減災に向けた地域づくり・まちづくりの機運を高めるため、ご協力をいただきますようお願いいたします。

ご協力いただく内容例

- ◆シンボルマーク・キャッチフレーズの使用(名刺、ホームページ、商品、ステッカー、広告等)
- ◆防災訓練や防災・減災に関するイベントへの参加
- ◆防災・減災にかかる独自の活動 など

参加特典

プロジェクトの趣旨に御賛同いただいた企業・団体等の皆様は、統一キャンペーンホームページなどで防災・減災に関する取り組み内容等を紹介させていただきます。

参加特典

- ◆統一キャンペーンホームページへの掲載(企業・団体等ロゴ、HPにリンク)
- ◆プロジェクト共通のパネル、映像等の無料貸出
- ◆企業・団体等の防災・減災に関する取り組み内容の紹介(HP、パネル等)

シンボルマーク・キャッチフレーズの使用について

「防災・減災 新潟プロジェクト2014」統一キャンペーンのシンボルマーク・キャッチフレーズは企業・団体などプロジェクトの趣旨に御賛同いただける皆様に無料でお使いいただけます。使用する場合には、事前に使用届の提出をお願いします。



防災・減災 知っ得情報 教訓を伝えて活かす まちづくり

災害時の安否確認に「災害用伝言ダイヤル(171)」

被災地の方が「171」をダイヤルすると、自宅の固定電話や携帯電話に伝言を録音することができ、全線から再生できます。

【災害用伝言ダイヤル(171)の使い方】
「171」をダイヤルするとガイダンスが流れます。ガイダンスにしたがって「1」をダイヤルし伝言を録音します。この伝言は48時間保存されます。伝言を聞くには「171」のあとに「2」をダイヤルしてください。「171」さえ覚えておけば、ガイダンスによって使えます。「171」をダイヤル。(ガイダンスが流れます)

再生する時は「1」
録音する時は「2」

被災地の自宅の電話番号、または、連絡をとりたい被災地の方の電話番号を市外局番から入力(ガイダンスが流れます)

伝言が録音されます
伝言が再生されます

防災・減災 知っ得情報 教訓を伝えて活かす まちづくり

緊急地震速報を見聞きしたときは まわりの人にも声をかけながら

◆家庭では
・頭を保護し、丈夫な机の下など安全な場所に避難してください。
・あわてて外に飛び出さないでください。
・無理に火を消そうとしないでください。

◆街中では
・ブロック塀の倒壊等に注意してください。
・看板や割れたガラスの落下に注意してください。
・丈夫なビルのそばであれば、ビルの中に避難してください。

〇〇会社

緊急地震速報により身体行動は異なります。日頃からいざという時の行動を考えておきましょう。

企業でつくる防災カードなど



シンボルマーク・キャッチフレーズ活用例

詳細はホームページを御覧ください。

<http://www.hrr.mlit.go.jp/project/index.html>

防災・減災 新潟プロジェクト2014

検索